

農業用廃プラスチック収集日のお知らせ(久喜・菖蒲地区)

久喜市久喜・菖蒲地域廃プラスチック処理運営協議会では、環境保全のため農業用廃プラスチックのリサイクルに努めています。

搬入するときは、泥等の汚れを落とし、異物、異素材(ハトメ、マイカー線など)の混入を避け、10kgから15kgくらいでつづら折りし、ほどけないように同じ素材のひもで2、3か所縛ってください。

なお、劣化したもの、分別されていないもの、汚れがひどいものは、受け入れをお断りすることがあります。

搬入できる方 久喜・菖蒲地区の農業者(法人を除く)

収集できる素材 塩化ビニール

※農業用ポリエチレンは、別途収集日を定めます。外張りPO、PO、カーテン、マルチ、灌水チューブ、マイカー線、ポリポットは回収しません。

日時 12月19日(木) 9時～12時

場所 久喜地区：久喜ライスセンター(下清久) / 菖蒲地区：カントリーエレベーター(菖蒲町下栢間)

負担金 1kgにつき18円(税込み)

問合せ 久喜地区：JANA南彩久喜営農経済センター ☎25・1515 / 菖蒲地区：JANA南彩菖蒲営農経済センター ☎85・7334

第45回シラコバト賞 受賞おめでとうございます

彩の国コミュニティ協議会では、住みよい地域社会の実現のために、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体を、地区コミュニティ推進協議会の推薦を経て表彰しています。今年度市内では、個人7人と6団体が受賞しました。(かっこ内は推薦地区コミュニティ推進協議会の略称です。)

個人表彰

○健やかな心身を育てる活動
安東廣子さん、梶サダ子さん(久喜コミ協)、島田初子さん(菖蒲コミ協)

○心のふれあいを深める活動
故張ヶ谷民子さん(鷺宮コミ協)

○住みよいふるさとをつくる活動
水島芳子さん(菖蒲コミ協)、勝又正雄さん、吉田義光さん(鷺宮コミ協)

団体表彰

○健やかな心身を育てる活動
かばさん(栗橋コミ協)

○心のふれあいを深める活動
障害者パソコンボランティアたんぼぼ(久喜コミ協)、菖蒲おはなしかご(菖蒲コミ協)、栗橋連合婦人会(栗橋コミ協)、陽だまりサロン(鷺宮コミ協)

○住みよいふるさとをつくる活動
しゃぼんだまの会(久喜コミ協)

連載 久喜歴史だより(第26回)

梅澤太郎右衛門の墓

久喜市栗橋東の浄信寺境内に市指定文化財梅澤太郎右衛門の墓があります。梅澤太郎右衛門はこの浄信寺を建てた人物と伝えられ、この他江戸時代初頭の日光道中栗橋宿が成立する時代に活躍した実績が今日に伝わっています。



梅澤太郎右衛門の墓

明治時代初期に編さんされた『武蔵国郡村誌』によれば、戦国時代、太郎右衛門は現在の神奈川県小田原市を本拠とする戦国大名後北条氏の家臣でした。天正18年(1590)後北条氏滅亡後は、小田原周辺に居住した後、慶長5年(1600)に、父とともに栗橋宿に移住したといわれています。

栗橋宿は慶長年間(1596～1615)に池田鴨之助、並木五郎平らを下総国葛飾郡元栗橋(茨城県五霞町)の住人を引き連れ移住し、開発されたと伝えられています。太郎右衛門が栗橋に移住してきた時期もまさに宿場町が建設されている時期でした。

また、19世紀前半に江戸幕府が編さんした『新編武蔵風土記稿』によれば、元和8年(1622)将軍徳川家光が

日光東照宮(栃木県日光市)を参詣する際、栗橋の地で利根川を渡ろうとしたところ、川は増水し、大風が吹きつけ通行困難な状況にありました。太郎右衛門は危険を顧みず、川の中に入り、將軍が通行するために設置した船橋が流されるのを引き留めました。この褒美として、幕臣伊奈忠治から貞宗の刀と扇子を与えられると共に、利根川兩岸の新田開発を命じられました。その後、將軍が再びこの地を通行し、栗橋宿の対岸中田宿(茨城県古河市)の大塚の上で休憩していた際、太郎右衛門は自らが開発した新田の広さを知らせるため、狼煙を上げてその広さを伝えました。將軍はこの新田開発の功績を賞した文書を与えると共に、川の堤防修築も行うよう命じました。

この後、太郎右衛門は伊奈忠治の家臣となり、その子孫は代々栗橋宿の名主を勤め、江戸時代を通じて宿場内の指導者としての役割を果たしました。



問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係(菖蒲総合支所内/内線373)